

広島市植物公園

見どころ案内

展示会のご案内

- ◇展示温室 (7/18~8/16)  
世界の食虫植物展
- ◇展示資料館 (6/10~8/6)  
むし・花・Zoo-Zoo 写真展

サギソウ (ラン科)

シラサギのような形をしたかれんな白い花が特徴で、当園のシンボルマークにもなっています。8月上旬が見頃となりそうです。

ヤチシャジン (キキョウ科)

明るい湿地に稀に生える多年草で淡紫色の花を穂状に咲かせます。国内で絶滅危惧 IA 類に指定されており、植物園では自生地に不測の事態があったとき、その地域のヤチシャジンが絶滅することがないように、「生息域外保全」を目的としたヤチシャジンの栽培を園内で行っています。

オジギソウ (マメ科)

さわると動く不思議な植物で、毎年子どもたちに大人気です。夏から秋にかけてピンク色の可愛い花を咲かせます。

ウツボカズラ (ウツボカズラ科)

今年の「世界の食虫植物展」はウツボカズラのなかまの展示に特に力をいれており、様々な種類をご覧ください。

ラッカセイ (マメ科)

漢字では「落花生」。受精すると花の付け根からつる(子房柄)が伸び、地中で実を結びます。つるが伸び始めている様子をご覧ください。

フウセンカズラ

(ムクロジ科)

風船のような実が面白い植物で、緑のカーテンにも使われます。種にハート型の模様があります。

ヒマワリ「サンフィニティ」 (キク科)

通常のヒマワリと違い、一株から何個もの小さなヒマワリを咲かせ続けます。また、一輪の花もちもよいため長く観賞することができます。現在、見頃を迎えています。

アサザ (ミツガシワ科)

縁がフリルようになった黄色い花を咲かせる浮葉性の水草。花は一日花で、朝咲いた花は夕方にはしぼんでしまいます。

マンデビラ

(キョウチクトウ科)

中央アメリカ~アルゼンチン原産のつる性の植物で、花を次々に咲かせるため、長期間楽しむことができます。

